

**製品名: SNAI1 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM80931**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.03%アジ化ナトリウムを含む PBS。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	29kDa

**抗原情報**

遺伝子名	SNAI1
別名	SNA; SNAH; SLUGH2; dJ710H13.1; SNAI1
遺伝子 ID	6615.0
SwissProt ID	O95863
免疫原	大腸菌で発現したヒト SNAI1 の精製された組み換え断片。

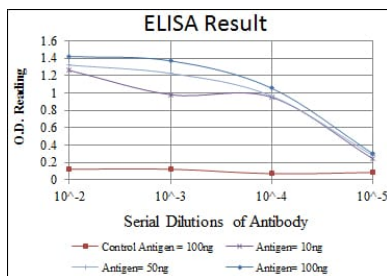
**背景**

Snail は、E-カドヘリンの転写を抑制できるジンクフィンガー転写因子です。E-カドヘリンのダウンレギュレーションは、胚発生中の上皮間葉転換と関連しており、このプロセスは浸潤性癌細胞によっても利用されています。実際、E-カドヘリン発現の喪失は一部の

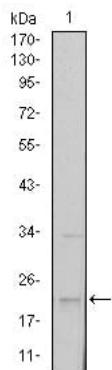
腫瘍の浸潤特性と相関しており、上皮性腫瘍細胞株における Snail と E-カドヘリンの mRNA レベルの間にはかなりの逆相関が見られます。さらに、Snail は細胞周期を阻害し、細胞死に対する抵抗力を付与します。GSK-3 と PAK1 による Snail のリン酸化は、その安定性、細胞局在および機能を調節します。組織特異性: さまざまな組織で発現し、腎臓で最も高く発現しています。

## 研究分野

## 画像データ



赤: コントロール抗原 (100 ng); 紫: 抗原 (10 ng); 緑: 抗原 (50 ng); 青: 抗原 (100 ng);



NTERA-2 細胞溶解物に対する SNAI1 マウス mAb を使用したウエスタン ブロット分析。